

ウェルフェア イズ ラヴ

2026年3月19日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

先日の読売新聞 地域面にこんな記事が掲載されていました。

[香川：補聴器使って認知症予防：地域ニュース：読売新聞](#)

記事を読む限りでは、一旦は自身で購入費用を支払わなければいけないようですが、後からであっても補助があるのとないのとは大きく異なると思います。購入（使用）後の「専門的なサポート」（に関する支援の有無も含めて）の具体的な部分がこの記事では記されておらずイマイチ解り辛い部分もあるけれど、それ（具体的なサポート方法）を探るために「利用開始後のアンケートなどを依頼する」のかもしれませんがね。

「（加齢性）難聴が認知症の危険因子とは言われているけれど、聞こえが改善されることで認知症の症状が改善されるかどうかは、はっきりとしたことは解っていない。」と、以前研修会で聞いた記憶がありますが、それでも聞こえが改善されることで、コミュニケーションそのものが相当改善されることは間違いないと思うので、必要な方に情報がきちんと届いてくれることを願います。

記事中には担当課や問合せ先が記載されていませんが、気になる方は県庁に問い合わせしてみれば良いかと思えます。

スタッフのヒトリゴト

先週号の続きの内容になりますが、結局『歩行器』を1割負担で購入することを試みることにしました。先日、基幹相談支援センターの相談支援専門員さんと、福祉用具事業所の福祉用具専門相談員さんが自宅に来て下さり、希望の機種を決めて、見積書を作成して頂くことになりました。見積書が出来次第、認定医に意見書を書いてもらえたら、申請出来る。申請してみないと申請が通るかどうか（1割負担で購入出来るかどうか）は解らないけれど、上手くいくといいな♪相談支援専門員さんと福祉用具専門相談員さんには、いろいろと相談に乗って頂きお世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

LOVE のラブラブな実践

先日、本当に少額ではありますが、当事業所として、“令和7年度「赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン”に募金させて頂きました。

本当に極小の個人事業所のため、「焼け石に水」にもなるかならないか程度の協力（募金）を行う事で精一杯ではあるけれど、社会福祉士相談所としてこういった活動に協力することも大切なことと考えているので、協力（募金）することが出来て良かった。

今年度末（3/31）まで募金を受け付けているとのこと。当該キャンペーンサイトのリンクを掲載しておきますので、宜しければ無理のない範囲で協力されてみてはいかがでしょうか。

[令和7年度「赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン」 | 赤い羽根共同募金](#)

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市を拠点に活動されている、「NPO 法人 子育てネットひまわり」様が、4月19日まで『#はじめの100ヵ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる親子の育ち時間～』というテーマで、クラウドファンディングに取り組まれています。応援する・しないに関わらず、クラファン実施サイトに記された、想いのこもったメッセージだけでも、多くの方に読んで頂ければと思います。

[#はじめの100ヵ月プロジェクト～「完璧な親なんていない」から始まる 親子の育ち時間～ | 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団](#)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

[転載や拡散、配布大歓迎！！](#)

[来週号も乞うご期待](#)